

運用指針

第2条③

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

ゴトマキ
東海環状自動車道(五斗蒔PA)の早期完成

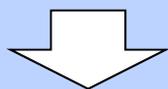
東海環状自動車道(五斗蔭PA)の早期供用

当初計画

国土交通省との合併施行であり、平成19年4月に土工部の引受後、施工計画を地元と協議した後、施設・舗装工事を計画

【①地元との施工計画協議】

- ・内回り側のPAに本線用地から移転した病院(精神科・知的障がい者更正施設)があり、患者等に配慮が必要であったことと、外回り側は住居に近接しており、地元から環境保全等の要望が強かったことから、協議の難航が予想されるため、約4か月半の協議を予定して供用時期を検討



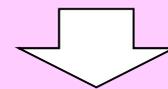
供用予定日:平成20年3月31日

経営努力による変更

早期供用のため工程短縮の取組みを行った

【①地元との施工計画協議】

- ・地元要望を踏まえた施工計画を検討し、環境保全および知的障がい者や精神科患者に対する安全対策等に配慮
- ・度重なる説明会等により約1か月間での工事着手が可能となった



供用日:平成19年12月16日
(105日の早期供用)

東海環状自動車道 ^{ゴトマキ}五斗蒔PA 位置図



東海環状自動車道 ^{ゴトマキ}五斗蒔PAの概要

- ・東海環状自動車道や中央道からの適切な休憩施設間距離が確保され、高速道路利用者の疲労軽減が図られる。

早期供用に向けた全体マネジメント

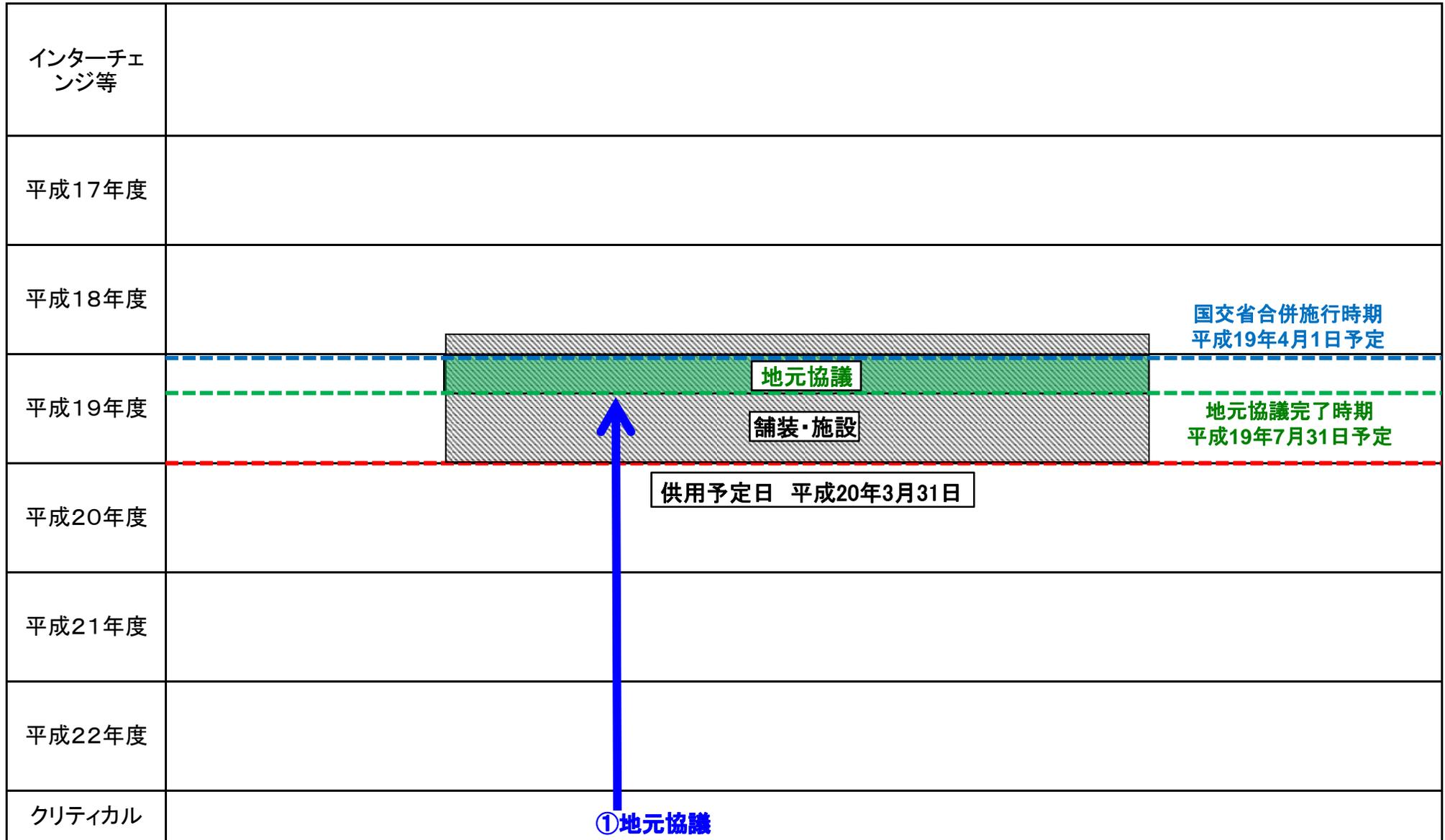
・PA周辺は病院施設、住宅が近接しており、工事による環境及び安全対策に係わる協議に時間を要する(約4ヶ月半)ことが想定されたため、H18.12頃より、工程短縮を検討

・地元要望を取り入れ、環境対策、安全対策について、具体的な工事計画を作成し、H19.4に病院施設、近隣住民に分かりやすく説明
※H19.7末協議完了予定→H19.4末完了(約105日短縮)

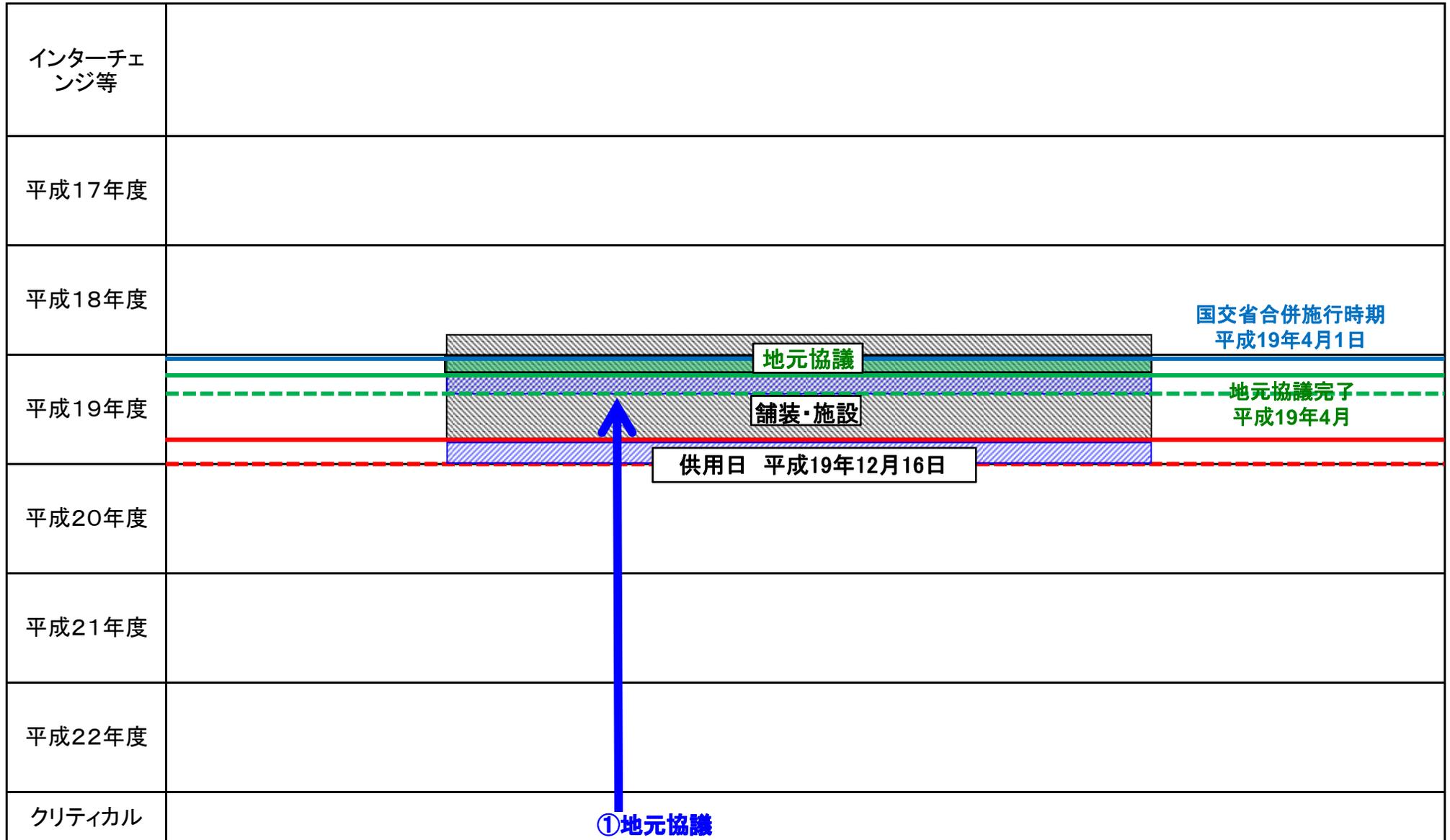
・協議が整ったことから、H19.12を完成目標に、工事等に取り組む

地元協議の早期解決により、早期供用が実現(105日)

当初工程(東海環状道 五斗蔦PA)



実績工程(東海環状道 五斗蒔PA)



①-1 地元との施工計画協議による工程短縮



● 施工範囲には病院施設や住居等が隣接していることから、地元要望への対応検討や調整に時間を要し、工事着手の地元了解を、早期に得ることは困難であると想定していた。

住居等

①-2 地元との施工計画協議による工程短縮

会社は地元理解を求め、早期に現場着手できるように、地元要望を踏まえた実施計画を検討

- ・築堤部に植栽を行い、騒音遮蔽と景観対策をかねた緑化を計画

- ・知的障害者や精神科患者に対する安全対策

(乗越えられないような立入防止柵の検討、患者らが興味を持たないような照明等の検討、門扉の出入りに関する細心の注意、散歩している患者への配慮)

- ・交通誘導員の配置

- ・病院施設職員の出勤時間に配慮した施工

- ・病院への夜間通行止め作業の事前連絡

- ・工事用道路の清掃及び周辺のみ化活動

- ・通学時間帯を考慮し、資材搬入時間を調整

更なる要望に対しても、誠意ある対応

- ・要望を踏まえ、築堤部の植栽について、騒音遮蔽と景観対策のさらなる工夫

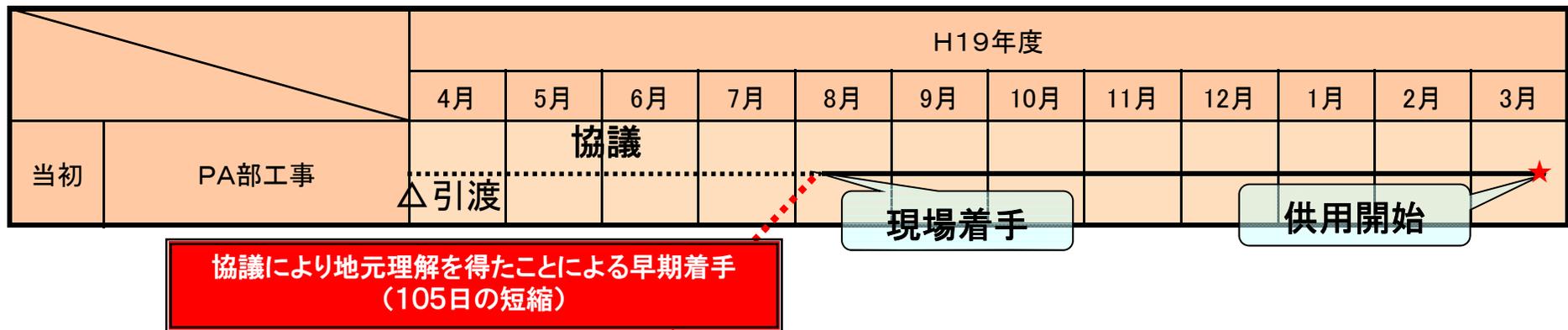


早い段階で現場着手が可能(平成19年5月)

105日間の工期短縮

①-3 地元との施工計画協議による工程短縮

早い段階での現場着手をめざし、地元に対して具体的な実施計画をわかりやすく説明し、更なる要望に対しても、理解を得られた結果、早期着手、早期供用が実現した。



工期短縮への取組みの結果、105日の早期供用(平成19年12月16日供用)